

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定）

- 1 【位置図】地域活性化プラン策定支援の状況について
- 2 地域活性化プラン一覧
- 3 地域活性化プランに関する問合せ先

# 【位置図】地域活性化プラン策定支援の状況について

H28 プラン策定数 50プラン

## <桑名市>

- ・香取地域資源保全会：地域コミュニティの維持
- ・桑名市温室園芸組合：産地の強化
- ・上之郷農家組合：集落営農の強化
- ・社団法人 あさひファーム：障がい者雇用

## <いなべ市>

- ・いなべ地域ミルキークィーンブランド研究会：産地の強化

## <東員町>

- ・三重県東員町六把野新田農事組合法人：集落営農の強化
- ・三重県東員町山田農事組合法人：集落営農の強化

## <伊賀市>

- ・JAいがほくぶ（大山田蔬菜出荷組合）：産地の強化
- ・（農）川上営農組合：産地の強化
- ・ふたば園（株）：産地の強化
- ・勝地ふるさと守り隊：集落営農の強化
- ・下町集落営農設立検討委員会：集落営農の強化
- ・霧生活活性化実行委員会：産地の強化

## <紀北町>

- ・紀北町 海・山こだわり市実行委員会：農産物の付加価値化

## <御浜町>

- ・尾呂志地区活性化プラン推進委員会：地域コミュニティの維持

## <紀宝町>

- ・子安の里の会：産地の強化

## <広域>

- ・三重南紀みかん産学官連携推進協議会：産地の強化

## <四日市市>

- ・四日市タカナリ栽培の会：産地の強化
- ・竹粉利活用研究会：産地の強化
- ・四日市温室園芸組合 観葉部：産地の強化
- ・これからの中瀬古地区の水田を考える会：集落営農の強化

## <鈴鹿市>

- ・BLOF堆肥生産組合：産地の強化
- ・鈴峰・深伊沢茶生産グループ：産地の強化

## <亀山市>

- ・小山新田環境保全営農組合：産地の強化
- ・亀山畜産夢プロジェクト協議会：産地の強化

## <菟野町>

- ・田光「神の穂」生産者グループ：産地の強化

## <津市>

- ・上ノ村環境保全プロジェクト：地域コミュニティの維持
- ・高野尾ヨモギ会：新産地づくり
- ・高野尾サトイモ研究会：新産地づくり
- ・栗真小川町自治会：地域コミュニティの維持
- ・産直ネット津：直売所
- ・中ノ村地域資源保全会：地域コミュニティの維持
- ・JA三重中央（なばな部会）：産地の強化
- ・布引そば大八生産組合：産地の強化

## <松阪市>

- ・宇気郷住民協議会：集客交流
- ・五主营農組合：集落営農の強化
- ・とっとき工房：農産物の付加価値化
- ・天花寺営農組合：集落営農の強化

## <明和町>

- ・スカイブルー（機械銀行）：集落営農の強化

## <多気町>

- ・たきいちばん：直売所
- ・（農）丹生営農組合：集落営農の強化

## <大台町>

- ・大台町地域営農推進協議会：集落営農の強化
- ・道の駅奥伊勢おおだい：直売所

## <伊勢市>

- ・横輪町活性化委員会：産地の強化

## <志摩市>

- ・芋の館：農産物の付加価値化

## <玉城町>

- ・玉城町エゴマ研究会：新産地づくり

## <度会町>

- ・（農）麻加江営農組合：集落営農の強化
- ・（農）長原営農組合：集落営農の強化

## <南伊勢町>

- ・南勢産地協議会生産者部会：集落営農の強化

## <鳥羽市・志摩市>

- ・JA鳥羽志摩（きんこ生産者グループ）：産地の強化



地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期間
桑名	東員町	三重県東員町六把野新田農事組合法人	農事組合を核とした農村環境・景観の維持・水利量の節約等	地域の都市化、非農家との混在化が進んでおり、農地の区画面積が小さい圃場が多い。また水はけが悪く、転作作物の小麦栽培が難しい。農家の高齢化が進んでおり、狭小な圃場では耕作放棄地が懸念される。	栽培作物の収量向上 販売方法の検討 集落内居住者への農事組合活動の周知	主食用水稲の収量、品質向上	H28.4
桑名	いなべ市	いなべ地域ミルクキーンブランド研究会	収益性の高いもうかる米づくりと水田農業を担う人材育成	米価低迷が続いているため、水田農家の収益向上を目的に、特別栽培米の生産と販路の開拓が進められていますが、水田農家の収益は伸び悩んでいます。また、担い手の高齢化の進行とともに、担い手不足が深刻になっています。	稲辺地域のミルクキーンブランドづくりを進め、販売量や販売先を拡大します。 ブランドづくり 人材確保育成と次世代への継承	生産安定体制の確立 研修会の開催	H28.9
桑名	桑名市	香取地域資源保全会	香取地域資源保全会を核とした集落の活性化	区画整理事業が実施されているものの、10a区画で用排水分離もされておらず、水路の老朽化が進んでいる。水田は担い手に農地を集積しているが、効率的な農作業を実施するには、圃場の大区画化を進める必要がある。	会を土地利用調整機能を持った組織として育成 農業基盤整備により区画割等の拡大を目指す 地元菓子製造業者と連携し、地域特産品づくりを進める	圃場整備事業の導入 地産地消の推進	H28.8

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期期
桑名	桑名市	桑名市温室園芸組合	桑名地域における、個性を生かしたオンリーワン発信の取組	生産面において、燃油、肥料等の生産コストが上昇傾向であり、温室栽培が基本の花き経営を圧迫しています。消費面においては、観葉・鉢花全体の消費が低迷し、市場単価は下降傾向にあります。	個性を生かした「オンリーワン」商品づくり 持続的な経営	栽培技術・経営管理力のさらなる向上 消費者ニーズの把握 商品の提案、情報発信	H28.12
桑名	桑名市	上之郷農家組合	上之郷営農組合を核とした水田及び地域環境の維持発展	農地中間管理事業の活用により担い手農家への集積・集約化を図っていますが、米価の低迷等担い手の経営環境はますます厳しくなると予想されます。また農家全体の共有財産である水路等の維持など、担い手だけでは維持管理しがたい作業が多数存在します。	共同法人化 地権者と担い手農家の役割分担 地区全体の土地利用方法の検討	上之郷地区の農業基盤維持方策の策定	H28.12
桑名	桑名市	一般社団法人あさひファーム	桑名地域での農福連携によるネギ栽培と地域活性化	農業の担い手が高齢化、減少しており、耕作放棄地が増加している一方で、障がい者や子育て世代の女性は働く意欲があっても、就労の場が少ない。こうした人たちが農業の現場で働けるよう環境を整備し、農業の生産を維持していく必要がある。	耕作放棄地の活用 働く意欲のある障がい者、女性の社会進出 農福連携、女性の活躍促進	ネギの生産量増大 1.0t / 10a    2.0t / 10a 障がい者の雇用促進 15人    20人 女性のパート雇用 3人    5人	H29.3

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
桑名	東員町	三重県東員町山田農事組合法人	農事組合法人を核とした農村環境維持・農用地の有効利用・水稲のブランド化	基盤整備は行われていますが、区画面積が小さい圃場や不整形の圃場、排水不良の圃場が点在し、農地の管理については担い手も敬遠する状況にあり、さらに農家の高齢化も進展していることから耕作放棄地化が懸念されます。	栽培作物の収量向上 農事組合法人の安定経営	主食用水稲の収量、品質向上	H29.2
四日市	四日市市	四日市タカナリ栽培の会	加工用米多収性品種の生産・需要向上プラン	水田農業については、水稲、小麦、大豆の輪作体系が進んでおり、県内でも有数の小麦産地であり、これまでも米需給調整も小麦中心に行われてきました。しかし、すべての水田が小麦に適しているは限らず、近年多用途米の需要も拡大してきています。	米粉用多収性品種「タカナリ」の栽培 「イセヒカリ」等の品種導入	圃場巡回の実施 2回/年 加工品研修の開催	H29.2
四日市	鈴鹿市	BLOF堆肥生産組合	BLOF理論に適合した優良堆肥の生産	近年、単価の低迷、燃油価格の高騰、気象条件による生育不良など、経営環境が悪化してきている。栄養価の高い農産物生産には、土壌の団粒化、ミネラル肥料などの施用だけではなく、水溶性炭水化物の補給が必要であり、優良な堆肥が必要になっているが、市場にない状況にある。	他団体の成果で、土壌分析のデータに基づく元肥や追肥の設計による栽培管理で、品質と収量の両面が向上する一定の成果があったことから、その取組をヒントに施肥設計の検討・実施とプラス水溶性炭水化物の施用する栽培方法を実現する。	良質堆肥生産 0t 300t	H29.3

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
四日市	四日市市	竹粉利活用研究会	地域の資源を活用した竹粉利用研究会	近年、単価の低迷、燃油価格の高騰、気象条件による生育不良など、経営環境が悪化してきている。栄養価の高い農産物生産には、土壌の団粒化、ミネラル肥料などの施用だけではなく、水溶性炭水化物の補給が必要であり、優良な堆肥が必要になっているが、市場にない状況にある。	他団体の成果で、土壌分析のデータに基づく元肥や追肥の設計による栽培管理で、品質と収量の両面が向上する一定の成果があったことから、その取組をヒントに竹粉の活用を検討した。	良質竹粉 0t 13t	H29.3
四日市	亀山市	小山新田環境保全営農組合	北在家地域資源を活用した「花鳥風月」の里づくり	平成23年度に策定した取組の継続が基本であるが、解消してきた耕作放棄地が永続的に利用されるような仕組みづくりをしていく必要がある。	特産品の開発（パッションフルーツ）、加工品の開発 新規特産品の検討 耕作放棄地の拡大解消	耕作地の拡大 WEBページの作成 パッションフルーツのハウス栽培	発展H29.2
四日市	亀山市	亀山畜産夢プロジェクト協議会	亀山畜産夢プロジェクト協議会における酪農・和牛繁殖基盤の強化	市内の酪農農家が減少し、酪農生産基盤の弱体化が問題となっています。収益性向上には生乳生産量の増加等が必要ですが、現在の飼養施設や糞尿処理施設ではこれ以上増頭するのは不可能な状況にあります。また、荒飼料を輸入に頼っており、経営規模を拡大した場合、家畜排せつ物処理に問題があります。	飼養頭数の拡大 受精卵移植による和牛生産の拡大 自給粗飼料の利用拡大	飼育頭数の拡大 施設整備 WCS農家との連携	H28.12

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
四日市	四日市市	四日市温室園芸組合 観葉部	歴史ある四日市の観葉産地ならではの地域振興・経営安定化の取組	生産面においては、燃料価格や資材費の高騰、災害の発生等により、経営が圧迫されている。合わせて、需要面では、業務用需要の低下、ギフト品の多様化などから、市場の競り単価が低下しており、部会の人数の減少、規模の縮小がみられる。	「四日市の観葉」のPRを再強化する 市場価格に左右されない経営	PRの再強化 講習会の開催 販路の多様化・拡大	H29.1
四日市	四日市市	これからの中瀬古地区の水田を考える会	中瀬古地区の水田農業を守る仕組みづくりの構築	米価の下落や機械投資の増大など、今後も個人で水田を維持管理していくことは困難になると予想されます。そのため、地区内の農業者が協力して農業を行うことで農地を守り、その活動を次の世代へ引き継いでいく仕組みづくりが必要とされています。	集落営農組織の設立 集落営農組織の経営安定	集落営農組織の設立 小麦収量向上	H29.1
四日市	菰野町	田光「神の穂」生産者グループ	田光地区酒米生産プラン	水田を中心とした農業が盛んな地域ですが、商業の発展や交通網の発達による都市化とともに土地開発や道路建設が進み、農地面積が減少しつつあります。また、近年は、深刻化する獣害と生産者の高齢化が大きな課題となっています。	地元の酒蔵への酒造用原料提供 酒造好適米品種「神の穂」の栽培	需要に応じた酒米の確保 品質の均一化と向上	H29.2

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
四日市	鈴鹿市	鈴峰・深伊沢茶生産グループ	鈴峰・深伊沢地域における茶生産生き残り戦略	荒茶単価の低迷や生産コストの上昇から、茶業経営が苦しくなっており、今までよりも厳しい低コスト化や、処理量増加等による収益確保が必要となっている。高齢化による規模縮小や後継者不足により担い手不足になっており、組合員数が10年で半減している。	買芽により地域茶園の生葉処理の核となることで、地域農業の維持を図る。	需要者と連携した売れる原料生産 生葉処理量の確保 農場のJGAP団体認証取得	H29.1
津	津市	上ノ村環境保全プロジェクト	上ノ村「縁結び」プラン	平成25年度に策定した取組の成果は確実に上がっているものの、課題解決にはほど遠く、より深刻化しているものもある。 ・後継者不足・高齢化 ・担い手への依存 ・若者の地区外への流出	外部の活力を活かした米づくり 次世代リーダーの育成 親子で休耕田を活用した取組「まめっこ」	縁結び米等の栽培の継続 市民農園の開設 炭焼き窯、小屋の復活	発展H28.9
津	津市	高野尾ヨモギ会	高野尾地区の地域資源の有効活用による新商品の開発と不耕作地の解消を目指した農業振興	当地区は植木栽培が盛んだったが、花木生産物の価格低迷により栽培面積が減少、担い手の高齢化や後継者不足により、畑の遊休農地化が拡大し、将来が危惧されています。このままでは、担い手の高齢化、後継者不足も相まって地域の農業生産を継続することが困難になりつつあります。	不耕作地の解消 6次産業化によるヨモギを使った商品開発	ヨモギの生産拡大 20a 50a 新商品の開発と販路拡大	H29.2

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
津	津市	高野尾サトイモ研究会	津市高野尾地区におけるサトイモ栽培の復活による地域活性化	当地域は植木栽培が盛んだった時代にサトイモ栽培も盛んでしたが、近年はサトイモ需要の低迷や花木生産物の価格低迷により栽培面積が減少、担い手の高齢化や後継者不足により、畑の遊休農地化が拡大し、将来が危惧されています。	直売所での売上1位のサトイモを再び軸とした地域振興を図るための基盤づくり	サトイモの計画的な作付 サトイモ栽培の仲間づくり 食育講座の開催	H29.2
津	津市	栗真小川町自治会	栗真小川町農業資源及び住環境の持続的な発展・振興に関する取組	農業者の高齢化、後継者不足、離農等により自作農家が減少し、担い手への農地流動化が毎年進展しています。	農地中間管理事業の活用した取組 「人・農地プラン」の策定・見直し	地権者向け説明会の開催 農地の貸付希望に関する調査の実施	H29.3
津	津市	産直ネット津	津市内農産物直売所のネットワーク「産直ネット津」による農業・農村の活性化	担い手の高齢化や後継者不足などにより、主業農家数が減少してきており、意欲的な農業経営体の育成と効率的かつ安定的な土地利用の推進、担い手の確保が大きな課題です。	農産物直売所のネットワークの充実 会員直売所の充実・活性化に向けた活動 「津産津消」推進活動の連携	ネットワークを活用した取組の実施 2件 研修会の開催 年2回	H29.2

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
津	津市	中ノ村地域資源保全会	中ノ村地域活性化プラン	少子・高齢化、農業者の高齢化、若者の農作業離れ、担い手不足、地域の連帯感の希薄化、住環境の保全管理が課題となっています。また、担い手に農地を預けたいという意向が強いことや、獣害も深刻な問題となってきています。	住環境づくり 農地を守るための共同活動、役割分担の検討	獣害対策フェンスの設置 使わなくなった施設の有効活用 直売所との連携 意見交換会の開催	H29.2
津	津市	JA三重中央なばな部会	JA三重中央なばな部会の地域活性化プラン	平成26年度に策定した取組を継続していますが、生産量の確保が課題となっています。	新品種の導入検討 新規栽培者の募集 出荷規格に関する検討	生産量 平成27年 平成30年 25.7t 45t GAPチェックシートのレベルアップ	発展H29.2
津	津市	布引そば大八生産組合	白山布引そば活性化プラン	平成23年度に策定した取組を継続していますが、生産量の確保が課題となっています。	春そばの導入 栽培面積の拡大 委託加工先を市内業者へ変更 販売先の拡大	栽培面積 5ha 10ha	発展H29.2

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
松阪	大台町	大台町地域営農推進協議会	大台町に合った大台町らしい営農組織の設立	中山間地にあり、経営規模は零細で、農業就労者の高齢化と後継者不足により、共同作業も困難になりつつあり、集落機能が低下しています。加えて近年の米価下落と野生鳥獣による被害も重なり耕作意欲の減退を招き、農地荒廃が拡大し、持続可能な営農形態の確立と生産意欲の向上を図ることが課題となっています。	先進地等視察 営農組織の法人化 販路拡大	先進地等視察 年1～2回 法人化に向けた検討会を実施 販売促進活動の実施	H28.4
松阪	松阪市	宇気郷住民協議会	地域資源を生かした交流による農山村再生	平成23年度に策定した取組を継続し、都市住民との交流を図ってきましたが、過疎化、高齢化は依然として進んでおり、空き家も増えてきています。獣害についても少しは改善方向に向かっているものの引き続き活動が必要です。	荒廃茶園の整備・活用の実施 古道の修復・ウォーキング体験の実施 農家民宿開業の推進	茶園オーナー制度の実施 イベントの開催 農家民宿の住民意向調査、研修会	発展H28.3
松阪	多気町	たきいちばん	安全・安心・環境負荷の少ない生産物の提供と地域の農業者育成	町内は工業団地の立地をきっかけに兼業化が進み、兼業農家による安定した農業が続いていましたが、現在では高齢化や後継者不足で管理されなくなる農地や、獣害により耕作できなくなる農地等の発生が見られるようになってきました。	マックスバリュ多気店の地物野菜コーナーに出荷する町内の有志農家により、お客様に喜ばれる、新鮮で安全、安心な農産物を提供する活動をします。	視察研修 1回/年 新規就農者の受入	H28.10

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
松阪	大台町	道の駅奥伊勢おおだい	直売施設を核とした地域内生産・流通の活性化	平成24年度に策定した取組を継続しているが、高速道路の延伸の影響により、年商、集客数とも減少傾向にあります。	直営農場の設置・運営 研修生の受け入れ 観光農園の開設	直営農場を設置し、体制を確立	発展H28.10
松阪	松阪市	五主営農組合	持続可能な営農体制確立のための法人化と経営発展に向けたビジョンづくり	農家の高齢化で農地の管理が困難となりつつあり、任意組織のままでは、農地の利用権設定等ができないため、農地を安定的に預かることができない。」	集落営農組織の法人化 新規品目の導入検討 米の有利販売、農産物加工の検討	法人の設立 研修会の実施 利用集積目標 50ha	H29.2
松阪	松阪市	ととき工房	地域内での女性の活躍の場	農業者の高齢化や小区画農地による作業性の不利から離農が進んでいる。また、地域内で働く場が限られていることから、若い世代が通勤・通学のため地区外へ転出し、人口減少及び高齢化率の上昇等が地域の課題となっている。	地域内の農産物等を活用した餅の新商品や、飯高町の農産物を活かしたお弁当や総菜等を開発し、一層、地域の農業にも貢献できるよう取組んでいく。	もち商品の品質、作業性の向上 人材育成 新商品開発	H29.3

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
松阪	松阪市	天花寺営農組合	持続可能な営農体制確立のための法人化と経営発展に向けたビジョンづくり	農家の高齢化や農業の継承がなされない状況であることから、農地の管理が困難となりつつある。法人化により担い手として地域農業のリーダーシップを担い、農地の保全をしていくことを検討中である。	集落営農組織の法人化 新規品目の導入検討 米のブランド化、農産物加工の検討	法人の設立 研修会の実施 利用集積目標 15ha	H29.2
松阪	明和町	スカイブルー (機械銀行)	担い手組織の経営力強化を核とした農業・農村の活性化	高齢化や後継者不足が進んでいるものの、水田は担い手への集積が進んでおり、米の需給調整と合わせ、麦・大豆等を含めた効率的な土地利用を進めていくことが必要となってくる。	小麦の受託組織である当組合の法人化に伴い、安定的な農業経営の実現等を図る。	経営面積の拡大 79ha 88ha 新規加入者の受入 経営の多角・安定化	H29.3
松阪	多気町	農事組合法人 丹生営農組合	営農組合の経営力強化と営農組合を核とした農業・農村の活性化	平成23年度に策定した取組を継続しているが、若いオペレーターの育成と収益確保のための取組が必要となっている。	生姜加工品の販路拡大 生姜の加工の効率化 米の高付加価値化	米の安心食材の取得 高付加価値化米の生産拡大 0ha 5ha	発展H29.1

地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
伊勢	南伊勢町	南勢産地協議会 生産者部会	現担い手の支援強化と後継者確保のための就農システムの構築	柑橘産地である当地域には、後継者の育成・新規就農者の確保、労働力確保システムの確立、園地基盤整備の検討、振興品種の普及による収益向上などの課題があります。	熟練生産者による後継者・新規就農者への支援体制の構築 栽培中止園の事前把握による農地幹旋体制の確立 維持する園地を選定し基盤整備を検討	振興品種の苗木導入 0本 400本	発展H27.4
伊勢	志摩市	芋の館	「芋の館」による地域人材・農産物を活かした農産加工品の開発・販売等を中心とした拠点づくりによる地域活性化	農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増加に伴い、地元農産物の生産を担う新たな担い手の確保、育成が急務です。また、地域の特産品「きんこ」の製造技術の伝承等、郷土の食文化を継承してもらえる仕組みづくりと後継者育成が課題となっています。	高齢者をはじめ、子育て世代の地域の女性に興味を持ってもらい、農作業、農産加工体験をとおして後継者の育成に努め、「芋の館」で一緒に働くことで地域内雇用の創出につなげていきます。	直売所の整備・開設 地域農業、農産加工品づくり等の体験 機会の創出 年2回 地域農産物を活用した加工品開発	H29.1
伊勢	伊勢市	横輪町活性化委員会	地域に伝わる「伊勢の横輪いも」活用大作戦！	平成25年度に策定した取組を継続し、横輪いもの栽培方法には目途が立ったところであるが、横輪いもは低温に弱く、冬野菜としては扱いにくい商品であることから、生食用の生芋の販売だけでなく、調理しやすい半加工商品や加工品の開発など、活用の幅を広げていく必要があります。	横輪いも栽培を継続していける仕組みの構築 地域資源としての横輪いもの活用	すりおろし済みの半加工商品の販売 イベント用のお菓子の開発	発展H29.3

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期間
伊勢	鳥羽市、志摩市	JA鳥羽志摩きんこ生産者グループ	干し芋「きんこ」の生産・販売力の向上	高齢化に伴い生産者及び作付面積が減少し続けています。獣害による農作物の被害が、耕作意欲の衰退と弱体化の大きな要因となっています。	生産量減少に歯止めをかけるため、担い手を確保し安定生産・安定販売を目指します。	ハヤト芋の生産量と品質の向上 加工技術の向上	H29.3
伊勢	度会町	農事組合法人麻加江営農組合	度会町麻加江地区の持続可能な安定的な農業の確立と地域の活性化	農家の高齢化が進み、機械の更新も難しい状況となっている。畔草管理は地主が行うことになっているが、個々の農家が管理することも難しくなりつつあり、次世代につなぐ担い手確保が急がれている。	農作業受託と農地中間管理事業を利用した農地の借受 野菜試験栽培の実施 パソコン利用による複式簿記	作業受託 10ha 水稻生産 10ha 小麦生産 2.5ha 野菜生産 0.5ha	H29.3
伊勢	度会町	農事組合法人長原営農組合	度会町長原地区の持続可能な農業の振興及び耕作が継続困難な茶園の活用	農家の高齢化が進んでおり、個々の農家では農地の管理が困難になってきており、集落全体で管理する必要があり、特に耕作の継続が困難な対策が求められている。また、獣害対策や農用地の管理をする担い手の確保が課題となっている。	農地中間管理事業を利用した農地の借受 野菜試験栽培の実施 耕作が継続困難な茶園の活用方法の検討 獣害防止柵の保守管理 パソコン利用による複式簿記	水稻栽培面積 4ha 小麦栽培面積 5ha 野菜栽培面積 0.4ha 茶園の活用面積 1ha	H29.3

地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
伊勢	玉城町	玉城町エゴマ研究会	玉城町の新たなブランド産品「エゴマ」の栽培法の確立と商品開発	小麦跡には一時大豆が25haほど作付されていましたが、連作障害、雑草害、虫害などで年々単収が減少し、作付面積も5haを下回っています。米価も低迷したままであり、農家所得の安定のため、地域の土壌や気候に適した新規作物を模索し導入する必要があります。	エゴマの栽培方法、加工方法の検討 エゴマ取組の収支試算の策定	栽培面積 2ha 搾油量 150cc瓶5,000本	H29.3
伊賀	伊賀市	JAIいがほくぶ大山田蔬菜部会	JAIいがほくぶ大山田蔬菜部会	年々生産者の高齢化が深刻な問題となっており、部会で生産しているキャベツの収穫時や箱詰め作業は大きな負担となっており、今後持続的に続けていけるかどうか心配する声が上がっています。	持続可能な野菜栽培 若手農業者や新規就農者の参入しやすい組織体制 安定的な出荷体制の確立	ブロッコリーの品種選定 ブロッコリー作型の拡大 キャベツの周年出荷体制の確立 他品目の導入検討	H28.6
伊賀	伊賀市	農事組合法人川上営農組合	農事組合法人 川上営農組合	少子高齢化が進む中、地域の基盤でもある農業の推進を図るため営農組織の法人化を検討し、法人化したことにより経営体として一層効果的で収益力の高い経営を図る必要があります。	農地の集積、規模拡大の推進 そばを原材料とした新商品開発 そば食の販売拡大	そばの栽培面積 4.5ha 6.5ha	H28.10

地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
伊賀	伊賀市	ふたば園株式会社	伊賀の茶葉で作った「伊賀茶」の産地力向上プラン	荒茶の価格の低迷、茶農家の高齢化、生産人口・消費人口の減少に伴い、茶農家をやめる農家が年々増加し、荒廃している茶園が増加してきています。	休止状態となっている「伊賀茶生産組合」の再構築 消費者ニーズに対応した商品の提供 伊賀産「無農薬和紅茶」の製造・販売 GAPへの取組	栽培面積 8.0ha 11.0ha うち碾茶 1.0ha 3.0ha うち紅茶 0.5ha 2.0ha	H28.9
伊賀	伊賀市	勝地ふるさと守り隊	勝地における農業の持続的な発展に向けた取組の推進	高齢化に伴い、農業をはじめとする後継者問題が深刻さを増している。離農に歯止めをかけるべく集落営農組織を整備するとともに、地域の特色を生かした農産品生産などにより経営力を高めていく必要があります。	農事組合法人を設立し、水稻を中心とした作付を実施 離農等の農家の農地を借受け、経営規模の拡大と生産費の削減 地域ぐるみでの農地並びに集落環境の保全 経営状況に応じて新規作物を検討	目標経営面積 水田 3ha 10ha	H29.2
伊賀	伊賀市	下町集落営農設営検討委員会	下町での農業を核とした集落環境維持・発展に向けた取組推進	耕作地のほとんどが水田だが小面積であり、条件が悪い湿田が多い。高齢化に伴い、後継者問題だけでなく受託農家もなくなる恐れがあります。獣害に対して地域ぐるみで対応できる体制ができていません。	集落営農組織の設立 作業協力者の確保 野菜、花木等高収益作物の導入検討	集落営農組織の設立 営農組織による水槽作の実施	H29.3

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
伊賀	伊賀市	霧生活活性化実行委員会	霧生地域におけるパッションフルーツとアテモヤの特産化による地域活性化	高齢化の進行により、地域で長年行われてきた行事や自治活動の運営など、様々な分野で支障が出てきています。今後ますます高齢化が進み、空き家の増加と農地の荒廃化が進むことが懸念されます。また、野生鳥獣による農業被害も年々深刻化しており、その対策も課題になっています。	年間を通して活動できる、パッションフルーツ、アテモヤの栽培と商品化を進める。	パッションフルーツ作付面積 40㎡ 300㎡ アテモヤ作付面積 0㎡ 120㎡	H29.3
尾鷲	紀北町	海・山こだわり市実行委員会	農林水産物の価値を高めるこだわり商品で紀北町の魅力を発信！地域みんなを元気に！	担い手の高齢化、後継者不足、価格の低迷などの問題が山積し、地域の過疎化と高齢化に拍車をかける要因の一つになっています。農林水産物がもつ本来の魅力をもう一度見直し、その価値を高めることにより、	加工施設の整備、運営 商品開発 商品販売の促進 総菜を中心とした移動販売	「海・山こだわり市」の開催 3回 移動販売 5回/月	H29.2
熊野	紀宝町	子安の里の会	紀宝町神内地区活性化プラン	農業従事者の高齢化により、農道や畦畔の草刈りなど農業生産資源を将来にわたって維持し続けることが難しくなっています。また、農業で十分な所得が得られないため、若い担い手を確保することも難しくなっています。	休耕田の活用、解消 直売市場からの販売 神内ブランド米 農家民泊 SNSを活用した情報発信	休耕田の活用面積 30a 農業体験を通じた次世代育成 年3回	H29.2

## 地域活性化プラン一覧（平成28年度策定分）

事務所名	市町名	農村地域団体名	地域活性化プランの名称等	地域の現状や課題	地域活性化プランの概要・方向性	目標項目・数値	プラン策定期
熊野	熊野市、御浜町、紀宝町	三重南紀みかん産学官連携推進協議会	柑橘生産地域での柑橘加工製品を生み出すことを主軸とした地域活性化	柑橘消費の低迷などにより、生産量は減少の一途をたどり、農家数の減少や就業者の高齢化、担い手不足、これに伴う遊休農地や耕作放棄地の増加、農地の集積の停滞、獣害の増加などの問題が深刻化してきています。	柑橘加工工場の見える化を行い、顧客の信頼性を高める 他社にない商品づくり 「シトラスの里」をイメージしたブランドづくり	柑橘原料処理量 1,000t 新商品開発	H29.3
熊野	御浜町	尾呂志地区活性化プラン推進委員会	第2次尾呂志地区活性化プラン	平成23年度に策定した取組を継続してきましたが、少子高齢化が進んでおり、アンケート調査を実施した結果、10年後には3割が空き家となり、遊休農地や耕作放棄地が増大することが懸念されます。	移住定住促進に向けた取組	空き家、遊休農林地のデータベース化 保育園の再開 移住定住ガイドブックの作成	H29.3

地域活性化プランに関する問合せ先

問合せ先	電話番号
三重県 農林水産部 担い手支援課	059-224-2016

地域機関の窓口	電話番号
桑名農政事務所 農政室 地域農政課	0594-24-7421
四日市農林事務所 農政室 地域農政課	059-352-0629
津農林水産事務所 農政室 地域農政課	059-223-5102
松阪農林事務所 農政室 地域農政課	0598-50-0515
伊勢農林水産事務所 農政室 地域農政課	0596-27-5164
伊賀農林事務所 農政室 地域農政課	0595-24-8108
尾鷲農林水産事務所 農政・農業基盤室 地域農政課	0597-23-3498
熊野農林事務所 農政室 地域農政課	0597-89-6122